

# 容器洗浄テスト報告書

テスト実施日： 2024年11月13日(金曜日) 15:00～ 17:00

テスト場所： クレオ テストラボ 羽生プラーツ(埼玉県羽生市内)

テスト実施者： 梅原

テスト機器： 器具洗浄機 エコノ

洗浄温度： 洗浄・すすぎ・全て60度にてテスト実施

洗浄機用洗剤： 使用無し

テスト内容： ①汚れ落ちの目視確認

②ATP検査にて数値確認

#### 【ATP法とは】

厚生労働省監修の食品衛生検査指針にも収載された食品衛生管理法の1つです。

微生物を含むすべての生物に含まれるATP(アデノシン三リン酸)を測定します。

微生物だけではなく、汚れの指標として使われております。

機械：器具洗淨機エコノ



立て掛けラックを使用  
複数枚投入可能



ATP検査にて：アデノシン三リン酸  
(汚れの残り)を数値として確認

# 【洗淨テスト(エコノ) 洗淨前⇒洗淨後】

CREO

温度:60度・洗淨:10秒 すすぎ:10秒 洗剤:無し



①高剥離  
洗淨前:ATP:3008  
洗淨後:ATP:48



②通常(左)  
洗淨前:ATP:839  
洗淨後:ATP:298  
通常(右)  
洗淨前:ATP:816  
洗淨後:ATP:301

# 洗浄評価方法：ATP拭き取り検査とは？

## ●ATP拭き取り検査

目に見えない汚れの量が  
10秒でチェックできる！  
数値で洗浄効果を確認  
することができます。

(※細菌の数値ではありません。)



本体(右)：ルミテスターSmart  
試薬(左)：ルシパックPen

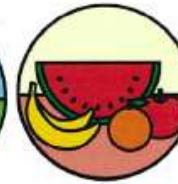
◆ATPとAMPは、必ず生物に存在する物質です◆



ヒトの血液や体液には、  
ATPとAMPが多量に  
含まれます。



食品のに加工されても  
ATPとAMPは存在します。



菌にもATPとAMPが  
含まれます。

ATP測定数値が高い

⇒有機物(汚れ)が多い ⇒洗浄不良！

ATP測定数値が低い

⇒有機物(汚れ)が少ない ⇒洗浄良好！

ATP測定値基準(目安値)

金属等 : 200[RLU]以下

樹脂等 : 500[RLU]以下

手洗い : 1500[RLU]以下

- 1、洗淨は問題なし粉(固まり無し)の為、隙間を狭く複数毎投入しても問題無さそう  
※ATP数値でも問題なし(20)
- 2、洗剤は未使用でも洗淨は可能だが、直接商品が触れる事も連続運転をした時の事も考え  
洗剤の使用を推奨したい。  
※リアクトM(アルカリ洗剤0.1%)
- 3、**懸念点** 洗淨物の重さが軽く洗淨水の水圧で一定の位置へのセットが難しい為  
専用立て掛けラックを作成し機内で洗淨物が飛ばないようにする必要がある
- 4、高剥離の素材の方が洗淨効果も良かった。おそらく汚れも剥離するのだろう。
- 5、2枚近い状態で立て掛けても洗淨力に問題なし
- 6、前回のヘルツからエコノに変更しててすと(エコノの方が洗淨力は劣るが本体がコンパクト) ※洗淨力に問題無し